

- 1 主題名 内容項目名 生命の尊さ (内容項目番号 D- (19))  
(資料名「キミばあちゃんの椿」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目 D- (19) は「生命の尊さについてその連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。」をねらいとしている。

かけがえのない生命を尊重するためには、自らの生命の尊さを考えることが大切である。今生きていることのありがたさを感じ取ることは他のあらゆる生命の尊さを理解することにつながる。ありとあらゆる生命の連続性と有限性に思いをはせることから生命に対する畏敬の念を持って考える態度を育てることが求められる。

現在、自然体験や人との関わりが希薄になる中で、様々な命あるものとの接触が少なくなり、生徒は生命の尊さについて実感を持つ機会が減少している。今、自分が生きている中で、自分以外の命あるものとの関係を考えていくことは、全ての命につながりがあり、お互いに支え合っていることの貴重さを考えることにつながる。

中学生の時期は健康な生活が当たり前で、自己の生命の尊さを意識することなく、軽率な言動が見られる。世界では一人一人の人間の生命を脅かすテロが多発し、国内においても生命を重く受け止めているとは思えない事件の報道が見られる。こうした現状を踏まえて、改めて自分が生きていることの価値について見つめ、自分が生きていく意味を考えることが大切である。

以上のことから、あらゆる生命に思いを寄せ、それぞれがかけがえのない生命を生きていることを考えることを通して、自分の生き方を考えさせたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (22人)

中学に入学以来、日を追うごとに人間関係も良くなってきており、落ち着いた生活ができています。授業にも前向きに取り組んでおり、道徳の授業では自分の考えをプリントに記述し、発表することができる。字を書くのに時間がかかったり、表現することを苦手とする生徒もいるので、個々の進度に合わせて授業を進めていく必要がある。

事前調査の結果は以下のとおりである。

- ① あなたは健康ですか。4とても15人, 3まあまあ5人, 2あまり2人
- ② 病気になった時, あなたはどんな気持ちになりますか。  
嫌な気持ち, つらい (各4人), 悲しくなる, 苦しい, だるい (各3人)  
つまらない, 早く治したい, わかりません (各2人) 等
- ③ 生命について考えることがありますか。1はい10人, 2いいえ11人
- ④ 治るあてのない重い病気にかかりました。日によって体も痛みます。  
◎あなたはどんな気持ちになりますか。  
悲しくなる (6人), 嫌になる (3人), 最悪, つらい (各2人)

理由：治るかわからないから、死なないか心配だから（各4人）、体が痛いから（2人）等

⑤ 病気で入院している友達をお見舞いすると、愚痴やうらみ言ばかりを言っています。

◎あなたはどんな気持ちになりますか。

わかりません（7人）、嫌な気持ち（4人）、悲しい、かわいそう、大変だと思う（各2人）等

◎愚痴やうらみ言を言う友達に対してどんなことをしますか。

わかりません、話を聞く（各5人）、ダメだと注意する（3人）、放っておく（2人）

理由：励ましたいから（3人）、自分にできることだから、話せばいい（各2人）等

⑥ 生命を大切にすることについて、あなたの考えを書いてください。

生命を大切に（5人）、わかりません（4人）、生命は大事、生命を無駄にしてはいけない、誰もが同じ命を持っている、親から与えられた命だから大切（各2人）等

ほとんどの生徒が健康に過ごしていると答えているが、あまり健康でないという生徒も2名いる。病気になった時にはつらく（4名）、嫌な気持ち（3名）になると答えている生徒が多い中で、早く治したいと思う生徒も2名いる。生命について半数弱（10名）の生徒が考えると答えているが、考えないという生徒の方が多く（11名）、生命を大切にすることについて記述していない生徒が見られる。

場面調査で病気で入院している友達が愚痴やうらみ言ばかりを言っている時の気持ちや友達にどんなことをするかではわかりません（7人）が多く、話を聞いて（5人）あげたり、ダメだ（3人）と注意したりして、友達を励ます（3人）などの具体的な行為を想像することができる生徒が少ない。

以上のような実態を踏まえて、資料の状況をできるだけわかりやすくとらえられるようにして、生命の大切さに迫れるようにしたい。

### （3）資料について

裕介は病気のために入退院を繰り返し、「生きていても仕方がない」と弱気になっていた。キミばあちゃんは病弱だった広瀬淡窓が医師の倉重湊の不健康を理由に、工夫や努力が足りないと助言されたことを話す。広瀬淡窓はその言葉を聞いて、それまでの気持ちを吹っ切って教師の道を歩んだ。裕介は広瀬淡窓の生き方に触れ、自分の考えが甘かったことに気づく。終末の「生きることは一と筋がよし寒椿」の句は「最後の最後まで生ききる」椿のように生きたいというキミばあちゃんの気持ちを表しており、かけがえのない生命を生きることの大切さを考えることができる資料である。

## 3 ねらい

キミばあちゃんの話聞いて広瀬淡窓の生き方について知った裕介が考えたことを通して、かけがえのない生命を尊重する態度を育てる。



<p>③ 「甘かったんだね。キミばあちゃん、ありがとう。」と言ってキミばあちゃんの手を握りしめた裕介はどんなことを考えたのだろうか。理由をつけて書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辛抱できない痛みと戦って教師の道を歩んだ広瀬淡窓の生き方に心を打たれた。</li> <li>・困難に負けず前に進んだ広瀬淡窓のように命を大切にしたいと思った。</li> <li>・万善簿に自分のできる良いことを考えて白丸と黒丸を付けた話を聞き、自分との違いに気がついた。</li> <li>・自分が広瀬淡窓のように命を大切に生きていないことに気づき情けなく思った</li> </ul>	1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・自分よりも苦しい立場にある広瀬淡窓の人柄に触れて、裕介が命を大切に生きてすることに気づいたことをまとめる。</li> </ul>
<p>④ 「椿は最後まで生きる。」と言って『生きることは一と筋がよし寒椿』という句を「いいねえ」というキミばあちゃんの言葉を聞いて、裕介は生命についてどんなことを考えたでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の寒さを乗り越えて、きれいな花を咲かせる椿の生命力を素晴らしいと思った。</li> <li>・広瀬淡窓も椿の花も困難を乗り越えてひたすら生きていることに感動した。</li> <li>・生命を大切にしているのは人も植物も同じだと考えた。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最後の最後まで生ききる」ことの大切さを話すキミばあちゃんの言葉から、かけがえのない生命を生き抜くことの大切さを理解させる。</li> </ul>
<p>3 キミばあちゃんが紹介した広瀬淡窓の生き方や五所平之助の『生きることは一と筋がよし寒椿』という句などから生命を大切に生きて生きることについて考えたことをプリントにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の命もあらゆる動植物の命も大切だから、生命を大切にしたい。</li> <li>・生きていく中では困難があるけれど、かけがえのない命を大切にしていきたい。</li> <li>・生命を大切にしているってどんなことがあっても負けずに生きていきたい。</li> </ul>	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>◇資料の内容を踏まえて自分自身を振り返り、かけがえのない生命を尊重して精一杯生きることについて考えることができたか。</li> </ul>
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業の取組について記入する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5段階で自己評価し、理由を記入する。</li> </ul>